

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

NSウエスト株式会社

(2) 事業所の所在地

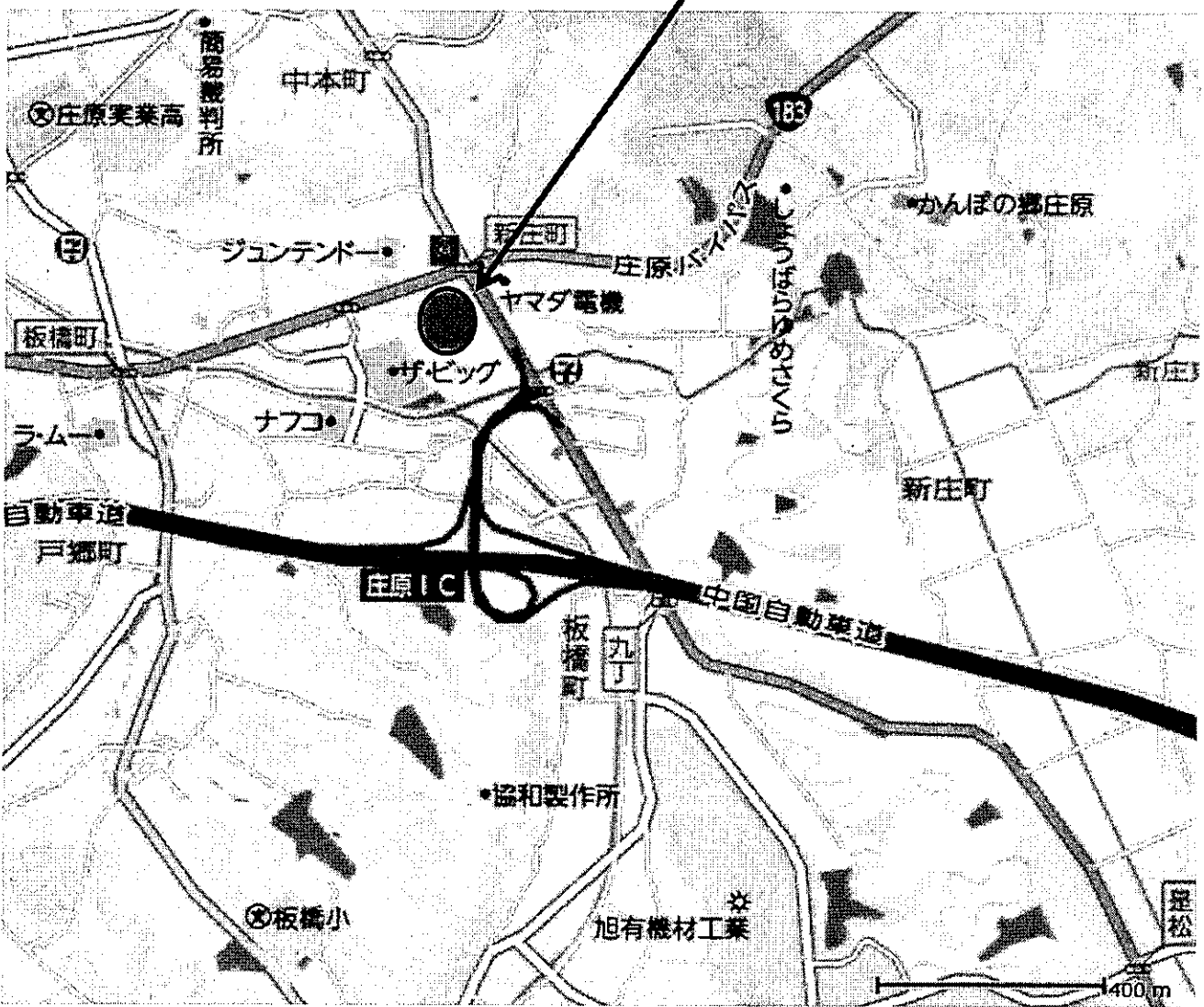
広島県庄原市新庄町366-2

(3) 業種

3113 自動車部品・附属品製造業

(4) 事業所位置図

NSウエスト株式



2 計画の期間

本計画の期間は、平成22年度を基準年度とし、平成23年度から平成27年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

(基本的な考え方)

当社は環境保全への取り組みとして、2001年より今日までISO14001を認証取得し継続して地球環境改善へ貢献しています。今後も全社に以下の環境方針を掲げ引き続き展開を行って参ります。

【NSウエスト(株)環境方針】

1. 環境宣言

私たちは、地球環境問題を経営上の重要課題として位置づけ、「志」、「社会」、「お客様」、「人」を大切にした事業活動を通じ、環境と調和する安全で持続可能な社会の実現をめざし、価値の高い製品、サービスを提供し続けます。

2. 環境方針

私たちは、自動車用計器を主とする製品の開発・製造・販売の事業展開に当たり、地球温暖化防止、資源の有効利用、生物多様性の保全、環境汚染の予防など環境影響の緩和や環境保全活動を展開し、継続的改善を推進していきます。

(1) 当社の事業活動にかかわる環境関連の法令、条例、その他の要求事項を遵守し、環境保全に取り組めます。

(2) 各部門が主体となって、特に以下の項目を環境影響への重点活動項目として継続的に取り組めます。

① 製品の生産から廃棄に至るまで、環境との調和をめざした商品を作る。

② 業務及び設備の効率化による無駄の排除により省資源、省エネルギーの推進。

③ 廃棄物のリサイクルなど、再資源化を促進し資源の有効活用に努める。

④ 化学薬品や有害物質などについて、適切な管理を行い、環境汚染の予防に努める。

(3) この方針達成のため環境目的・目標を明確に定め、当社で働く全ての人へ周知徹底を図るとともに、環境マネジメントシステムの改善を継続し、維持向上のために定期的に見直し、必要に応じ改訂を行う。

又、外部からの要求に対してはこれを開示する。

又、上記環境方針推進の一貫として、工場を省エネ工場とするべく取り組み、更に自然エネルギーの活用等により環境改善に努めて参ります。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成22年度	平成23年度
二酸化炭素		4,981	5,217

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量			-		
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

メータ等生産台数(台)

単位：排出量(kg-CO₂)，原単位数(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成27年度)		
	排出量 (a)	原単位数 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	4,981,000	1,341,616	3.71	5.7	4,700,000	1,341,616	3.50
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
フロン類				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	A重油の使用量を16%削減	1. 成形の冷暖房用冷温水発生装置のボイラーを夏季以外1台停止し、A重油使用量削減。 2. 暖房時、上記ボイラーの設定温度を下げ、A重油使用量削減。
2	電気使用量の削減	電気の使用量を5.5%削減	1. 成形の材料供給機に排熱回収装置、断熱材を取り付ける 2. 水冷コンプレッサのポンプにインバータを取り付ける 3. 基板実装のリフローに断熱材を取り付ける 4. 不要箇所の照明を消灯する

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

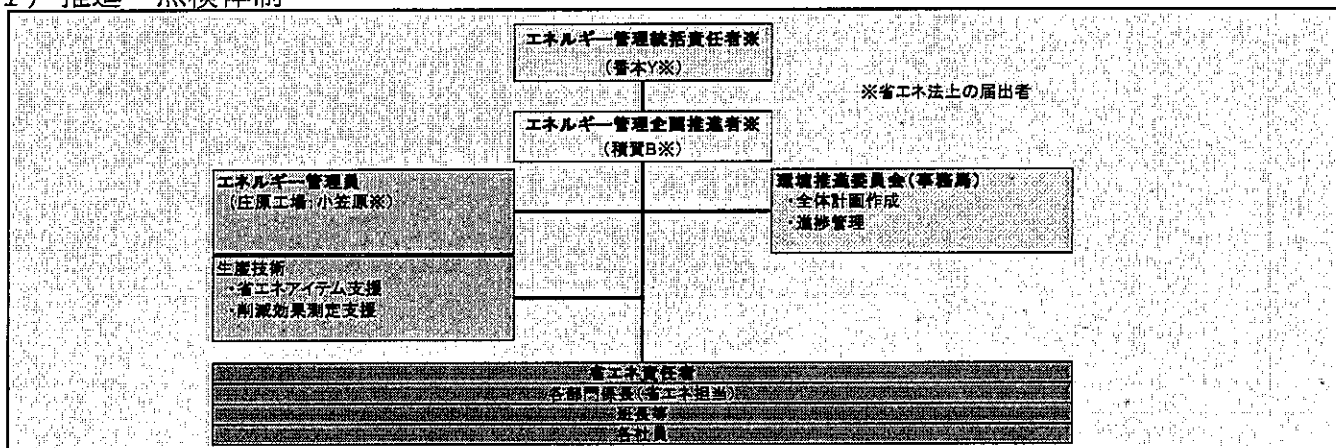
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

環境推進委員会で、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、環境推進会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

事業所に備えつけて閲覧する。